

株主の皆様へ



VISION

将来成長を見据えた  
「攻めの経営」へ舵を切ります。

2008年秋の金融危機の影響により依然世界経済には力強い回復が見えず、消費の低迷、投資抑制などが進行し、2010年3月期は事業環境の厳しい中でのスタートとなりました。

このような環境の激変を一過性の景気減速と受けとめた対応策に終始するのではなく、世の中が大きく変わろうとする転換点と認識し、さらに自らの価値を高めるチャンスとして捉え、より強い成長につなげることを目指して2010年3月期、2011年3月期の2カ年にわたる『経営方針<09-10>』をスタートさせました。

2010年3月期は、売上成長が見込めない厳しい事業環境でも確実にフリー・キャッシュ・フローの創出が可能な企業体質への変革に注力した結果、当期のフリー・キャッシュ・フローは前期を大きく上回る729億円となりました。

収益面では、売上高は前期比15.1%減の8,044億円、営業利益は前期比21.8%減の439億円にとどまりましたが、主要事業の回復、特に2010年3月期後半に入ってから情報機器事業がけん引して、三四半期連続で増益となり、グループ業績は回復基調を取り戻しています。

2011年3月期の経済環境は、決して楽観できる状況ではありません。そのような中でも、当社グループは2期連続減収減益の流れを断ち切り、2011年3月期を「成長軌道への転換点」と位置づけ、「既存事業の売上伸長・業容拡大」「アジア市場への本格展開」「新規事業展開の加速」の3つを重要課題として、目先の成長のみならず5年先、10年先まで持続した将来成長を見据えた「攻めの経営」へ舵を切ります。

私はコニカミノルタを、「足腰のしっかりした、力強く成長を続ける企業」「世の中に支持され、必要とされる企業」にするという信念を持ち、経営を行っています。

「足腰のしっかりした企業」とは、財務体質をはじめとする企業体質がしっかりして、厳しい事業環境の中でも確実に利益を出せる体制を有することを意味しています。事業環境の変化に対応し、成長の機会を確実に捉え、力強く成長を続けると同時に、起こりつつある社会の変化をしっかりと捉え、何を強化すべきか見極め、お客様が必要とするものを提供し、力強く成長している状況を創り出していかなくてはなりません。

「世の中に支持され、必要とされる企業」とは、人々の役に立つ、世の中の役に立つ製品・サービスを通じて「新しい価値」を提供し、株主様、当社グループのおお客様、お取引先のみならず、現在直接には関わりのない人達からも、私たちの企業活動に好感を持たれ、支持され、応援してもらえる会社だと考えています。

これらを推進していくのは「人」です。私はグループ社員に、「目線を高く持つ、失敗を恐れずに目標にチャレンジする、失敗したときは失敗から学んで次に活かすというプラス思考の風土を目指す」というメッセージを発信しています。まずは目線を高く持つこと。そうすれば困難なことにもチャレンジするという行動が自主的・自立的に生まれ、自ら描いた未来の実現につながり、それがコニカミノルタグループの企業価値向上につながるものと考えます。

株主・投資家の皆様におかれましては、今後ともコニカミノルタへのご理解とご支援を賜りますよう、お願いいたします。

2010年6月



代表執行役社長

松崎正年